

◆トンネル覆工裏込注入工法【スペースパック工法】

➤用途 トンネル覆工の裏込充填や擁壁背面などの一般空洞充填に適用できます。

➤材料 材料形態には次の2種類があります。

✓**生モルタイプ**（大量施工:生コン工場よりモルタル出荷）【カク* kk-2】

✓**フレミックス袋品タイプ**（少量施工:モルタル及びミルク）【カク* kk-2】

➤物性

✓可塑性 ・一液型で可塑性が得られます。

✓水中不分離性 ・水中でもバラケたり、材料の溶出がありません。

✓環境適合性 ・六価クロムの溶出がありません。

➤施工性

✓無機系材料を用いているので製造がとても簡便です。

✓可塑性なので限定注入が可能です。

✓覆工のひび割れや目地からの漏洩がありません。

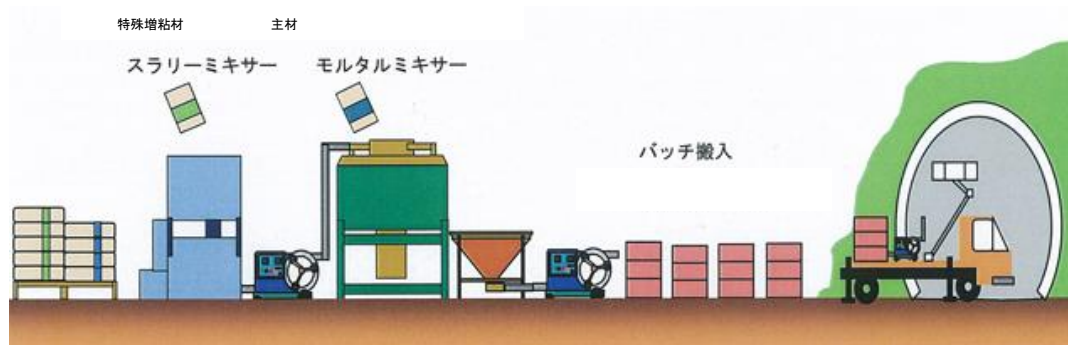
✓水中または漏水のある空洞部注入でも品質が安定しています。

➤納入形態

✓1日の注入量が多い場合は「**生モルタイプ**」で、1日の注入量が比較的少ない場合は、「**フレミックス袋品タイプ**」の使用がお勧めです。



生モルタイプを使用した場合の施工概念図（大量施工）



ミルクタイプを使用した場合の施工概念図（少量施工）